

注目作家紹介プログラム チャンネル11

徳重道朗「ゆきゆきて神戸」2020年11月21日(土) - 12月20日(日)

関連イベント「アーティスト・トーク & 資料展示」開催のお知らせ

日時：11月23日(月・祝) 14時～(約1時間)

講師：出品作家 徳重道朗 (当日は作家が制作過程で集めた「関連資料」の展示も行います。)

場所：レストラン (兵庫県立美術館2階)

定員：先着50名 (当日の午後1時から会場のアトリエIで整理券を配布します。)

※友の会の優先座席あり

以下、9月16日リリース

開催趣旨

現在活躍している作家を紹介するシリーズの第11回として、愛知県を拠点に活動している徳重道朗(1971年-)にスポットをあてます。徳重は、会場をなんらかの風景に見立て、その場所の特性を巧みに活かしたり、場所の意味を引き出したりするインスタレーションで知られています。今回は、流しの設備があるアトリエ1の会場を使って、水や水利に関する新作インスタレーションを展開する予定です。



(図1)

【参考図版】

徳重道朗《H123》(部分) 2016年

アーティストメッセージ

徳重道朗

瀬戸内海に面している神戸市は、海が身近だけでなく、山を背負う形で都市が作られているおかげで、市街地のすぐ近くに滝があったり、街中を流れるせせらぎがあったりと、自然の水系が豊富ですが、それだけでなく、ダムや浄水場もまた近くにあったり、水道筋と名付けられた通りがあったりと、水にまつわる多くの事象が凝集されています。そして、1938年の阪神大水害に代表されるような、水の負の側面の記憶もまた抱えこんでいて、他の都市と比べても、水とより複雑な関係を結んでいるように見えます。

以上の観点から、今回の展覧会では、神戸という都市を水という観点から捉え直すことを試みる予定です。

会場はアトリエとして流し場が備え付けられているので、それらも作品に取り込む形で展開します。展示物としては神戸の水にまつわる写真や映像作品および蛇口から延長させた水道管で組み立てた造形物などによってインスタレーションを構成する予定です。



徳重道朗 / TOKUSHIGE Michiro

- 1971 愛知県生まれ
- 1995 名古屋工業大学工学部材料工学科卒業
- 1999 名古屋芸術大学大学院絵画研究領域修了
- 1999 アーティストランススペース dot 設立、運営参加

主な個展

- 2016 「風光」CAS（大阪）
- 2014 「Spaital oblique」gallery Noi Voi（名古屋）
- 2012 「on the corner」gallery GOHON（名古屋）
- 2011 「Is dance sunda zans?」muzz program space（京都）
- 2007 「風前の」takefloor（東京）
- 2003 「ピクニック - 鉛筆山や消しゴム街」muzz program space（京都）

主なグループ展

- 2019 「あいちトリエンナーレ地域展開事業
Windshield Time-わたしのフロントガラスから 現代美術 in 豊田」
豊田市の様々な施設（図2）
- 2019 「パラランドスケープ“風景”をめぐる想像力の現在」三重県立美術館（図3）
- 2018 「みのかも annual2018」みのかも文化の森（岐阜）
- 2016 「Assembrijge NAGOYA 2016 現代美術展
「パノラマ庭園-動的生態系にするす」
ポットラックビル及び名古屋港一築地口界限（名古屋）（図4）
- 2016 「新ナゴヤ島」名古屋市民ギャラリー矢田（図1）
- 2015 「Diamonds Always Come in Small Packages」
Kunst Museum Luzern, Switzerland
- 2013 「くうちゅう美術館」名古屋テレビ塔
- 2010-14 「woodland gallery」みのかも文化の森（岐阜）
- 2007 「return to Cezanne」Collection Lambert en Avignon, France
- 2004 「NIPPON TIME recycled」Yvon Lambert New York, U.S.A
- 2004 「AKIMAHEN! -yes, future!」Maison Folie de Wazemmes, Lille, France
- 2003 「TAMAVIVANT」多摩美術大学（東京）、やえもん画廊（京都）
- 2001 「名古屋市民ギャラリー矢田オープン記念展」名古屋市民ギャラリー矢田



（図2）【参考図版】
徳重道朗《あなたのヘッドライトまで》2019年
撮影：城戸保



（図3）【参考図版】
徳重道朗《対岸の風景》（部分）2019年
撮影：尾崎芳弘



（図4）【参考図版】
徳重道朗《山並み》2016年
撮影：怡土鉄夫
画像提供：アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

開催情報

注目作家紹介プログラム チャンネル 11

徳重道朗 「ゆきゆきて神戸」

会期 2020年11月21日（土）－12月20日（日）

開館時間 午前10時から午後6時
※ 入場は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日
※ 11月23日（月・祝）開館、11月24日（火）休館

会場 兵庫県立美術館 ギャラリー棟1階 アトリエ1
(〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL:078-262-0901 <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>)

観覧料 無料

主催 兵庫県立美術館

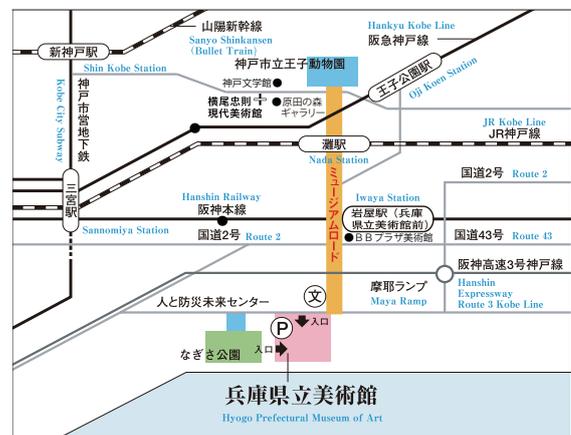
協賛 公益財団法人伊藤文化財団

助成 公益財団法人朝日新聞文化財団
公益財団法人 花王 芸術・科学財団
公益財団法人 中内カコンベンション振興文化財団
NOMURA 野村財団

担当学芸員 出原均

【交通案内】

- ・ 阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
- ・ JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
- ・ 阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- ・ JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
- ・ 地下駐車場（乗用車80台収容・有料）



注目作家紹介プログラム 11

徳重道朗「ゆきゆきて神戸」参考図版 広報画像申込書 01

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903 兵庫県立美術館 営業・広報担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

1



徳重道朗《H123》(部分) 2016年
展示風景:「新ナゴヤ島」名古屋市民ギャラリー矢田、2016年

2



徳重道朗《あなたのヘッドライトまで》2019年
展示風景:「あいちトリエンナーレ地域展開事業 Windshield Time -わたしのフロントガラスから 現代美術 in 豊田」2019年
撮影: 城戸保

3



徳重道朗《対岸の風景》(部分) 2019年
展示風景:「パララドスケープ」三重県美術館、2019年
撮影: 尾崎芳弘

4



徳重道朗《山並み》2016年
展示風景: Assemblage NAGOYA 2016 現代美術展
「パノラマ庭園 ー動的生態系にするすー」
撮影: 怡土鉄夫
画像提供: アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

●貴媒体の情報をご記入ください。

○媒体名 (番組・雑誌名等):

○媒体種: 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他 ()

○掲載・放送予定日: ○参考 URL

○原稿確認予定日:

※WEB掲載の場合、いずれかに○をつけてください。コピーガード対応 可 ・ 不可

●申請者の情報をご記入ください。

○貴社名:

○所在地: 〒

○ご担当者名:

○メールアドレス:

○電話番号:

【画像使用に際しての注意事項】

○「作家名」「作品名」「制作年」「クレジット」を明記してください。

▼参考

「作家名」徳重道朗

「作品名」「制作年」《山並み》2016年

「クレジット」展示風景: Assemblage NAGOYA 2016 現代美術展「パノラマ庭園 ー動的生態系にするすー」、撮影: 怡土鉄夫、画像提供: アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

○作品画像の加工(着色、トリミング、文字載せなど)はできません。

○基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。

○掲載媒体を1~2部、もしくは URL、同録(DVD、CD)を「営業・広報担当」宛にお送りください。

○画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます(会期終了まで)。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、改めて申請願います。

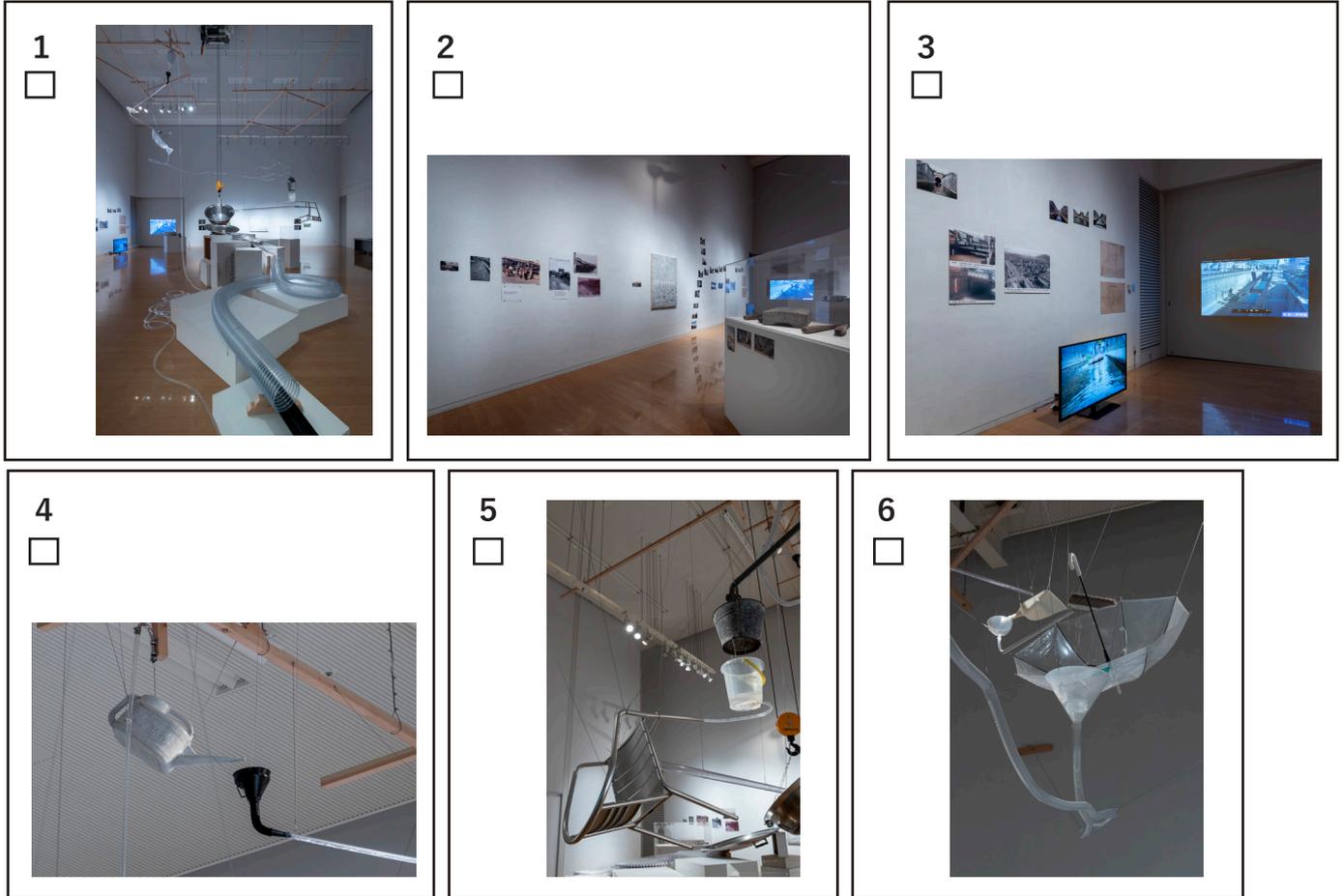
注目作家紹介プログラム 11

徳重道朗「ゆきゆきて神戸」 展示風景 _ 広報画像申込書 02

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903 兵庫県立美術館 営業・広報担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

*本紙に掲載している画像以外をご希望の場合には、ご相談ください。



●貴媒体の情報をご記入ください。

○媒体名 (番組・雑誌名等) : _____

○媒体種 : 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他 () _____

○掲載・放送予定日 : _____ ○参考 URL _____

○原稿確認予定日 : _____

※WEB 掲載の場合、いずれかに○をつけてください。 コピーガード対応 可 ・ 不可

●申請者の情報をご記入ください。

○貴社名 : _____

○所在地 : 〒 _____

○ご担当者名 : _____

○メールアドレス : _____

○電話番号 : _____

【画像使用に際しての注意事項】

○「展覧会・作家名」「展覧会場」「開催年」「クレジット」を明記してください。

▼展覧会・作家名、展覧会場、開催年
注目作家紹介プログラム チャンネル11
徳重道朗「ゆきゆきて神戸」
兵庫県立美術館、2020年

*画像キャプションについては、表題に上記の情報が含まれる場合には「本展展示風景(部分)」でも構いません。

▼クレジット
撮影: 高嶋清俊

○作品画像の加工(着色、トリミング、文字載せなど)はできません。

○基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、
取材希望日の3営業日前までに
メールまたはFAXにてお申込みください。

お申込日 年 月 日

メール送付先: press@artm.pref.hyogo.jp / FAX送付先: 078-262-0903

取材内容

希望日時	第1希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
	第3希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
希望場所										
企画内容										
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり	スチール	台	ムービー	台	三脚/脚立	台			
	<input type="checkbox"/> なし									
取材人数	人	取材時の代表者名								
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 新聞	<input type="checkbox"/> Web	<input type="checkbox"/> その他()					
媒体名										
掲載・放送 予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載	年	月	日	曜	時	分			
	<input type="checkbox"/> 放送									

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-mail	

- * 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- * 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
- * 掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 営業・広報担当(細田・村上・有田)
〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903 Mail:press@artm.pref.hyogo.jp